

あいめーる

AUTUMN

愛隣館通信

平成 24 年 9 月 20 日発行 〒861-0551
 発行 熊本市山鹿市津留 2022
 社会福祉法人 愛隣園 TEL 0968-43-2771
 障害者支援施設 愛隣館 FAX 0968-43-2793
 発行責任者 三浦貴子 http://aileans.com
 編集 広報チーム E-mail
 キャリーピジョン ailins@ku.magma.ne.jp



(写真上・愛隣館食堂於)

目次

ヨガ教室始まる	1
今年の夏と、障害者政策委員会	2
ヒューマン・ライツ委員会発足	2
パソコン贈呈式	2
たん吸引に関して	3
介護職員研修テキスト DVD 撮影	3
フライングディスク教室	3
あいめーる広場(愛隣館行事等)	4・5
クローズアップ愛隣館③	6
新しい仲間	6
外部講師を迎えて③	7
ブドウ作り生きがいに	7
家族の声④	7
ゆうかり学園 夏祭り	8
キャリーピジョン訪問取材	8
編集後記	8

ヨガ教室始まる

本年度六月四日(月)より、毎週月曜日午後二時～三時までの一時間。アクティビティ(日中活動)として、ヨガ教室が始まりました。

食堂いっばいに敷き詰められたマットを前に、山崎美香先生の指導で開催されるヨガ教室。いつも入居者やデイケア、愛隣倶楽部の利用者の皆様、職員の熱気に溢れています。

山崎先生は、小学校教員を経て、渡印。南インドでトラディショナル・ヨガのカマール師に師事し、ヨガの公認インストラクターの資格を取得されました。また、国内外の指導資格をお持ちであり、山鹿市内でヨガ教室を主宰されています。

月に二回、職員有志の参加でのヨガ教室も開催され、利用者の方々のみならず、職員の体調管理の一助ともなっているようです。

今年の夏と、
障害者政策委員会



委員長

三浦 貴子

七・一一、ひと晩の大雨が、阿蘇地域で二十三名の尊い生命を奪った九州北部豪雨でした。また、熊本市の白川流域など、県内各地で被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

全国各地からご心配を頂き、北海道の北広島リハビリセンターからは、いち早く支援金が届きました。県の施設協議会としてお受けし、阿蘇地域の施設で、スタッフの方々の自宅、車両等に被害のあった、たちばな園の方へ贈らせて頂きました。

全国とのつながりを改めて感じます。本当にありがとうございました。

次に、制度関連の動きとして、七月末に内閣府第一回障害者政策委員会が開催されました。三十名の委員会で障害当事者リーダーの方々が約半数の構成です。委員として任命を受け、さらに委員長代理・小委員会座長を仰せつかることになり、重責にかつてない緊張をしています。

月に二回開催され、十二月までに、平成二十五年からの十年間に望む障害者基本計画案を作成する運びとなります。これまで二回の委員会を経て、障害者権利条約に添う基本計画をめざす、という方向性が大方の合意です。施設協議会及び、山鹿・熊本の実践地域でつかんだ声、そして実感しているこ

とを委員会に届けたいと考えます。ご意見をお寄せ下さい。どうぞ、よろしく願います。

最後に今年の夏は、利用者広報チームキャリアピジョンのこと、昨年から東日本大震災支援Ｔシャツ事業のことなどが、新聞に報道され様々な反響を頂きました。

また、東京より二日間、介護員テキストのDVD撮影のため愛隣館へカメラが入り、交流と刺激の多い夏となりました。外部の取材を受けて、ご利用者、スタッフと一緒に歩んでいることを確認することができ、九月を迎えています。



ヒューマン・ライツ委員会発足
(障害者虐待防止委員会)



委員長

辻 啓司

「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」が、平成二十四年十月一日から施行されます。

この法律は、障害者の虐待防止、早期発見、虐待を受けた障害者に対する保護や自立支援、養護者に対する支援等を目的とされています。

この目的を実現するためにこの法律では、国や公共団体、障害者福祉施設従事者等に障害者虐待の防止等のための責務を課しています。また、虐待を受けたと思われる障害者を発見した者に対する通報

義務を課しています。

そこで施設に置いて、「ヒューマン・ライツ委員会」を発足させ、今後、より高いレベルで虐待防止に向けた取り組みを進める為、内部研修や会議等を通じて職員の意識向上に努め、皆様が安心して利用できる施設としていきたいと考えています。



パソコン贈呈式



七月十七日(火)愛隣館にてパソコン贈呈式が行われました。

熊本県生命保険協会は、社会貢献活動の一環として、障がい者を支援する団体へ物品の寄贈を行ってまいります。

この度、社会福祉協議会を通じて三浦施設長へお話があり、障がい者が構成された広報チーム・キャリアピジョンにパソコンが寄贈されることが決まりました。

贈呈式には、熊本県生命保険協会会長(寺崎毅史様)、同じく局長(井出治彦様)をはじめ、愛隣館施設長・副施設長・職員・利用者の方々が出席。

三浦施設長挨拶の後、寺崎毅史様より目録、井出治彦様よりパソコン一台が贈呈されました。



広報部のパソコンが二台になり、作業効率があ
ツプすることで、ホームページや季刊紙の内容を充実
させ読者の力となるよう努めていきたいと思いま
す。

関係者の皆様、ありがとうございました。

たん吸引に関して



看護課

富士田 世志子

平成二十四年度から施行された『介護職員等によ
るたん吸引等の制度化』に伴い、一定の研修を受け
た介護職員等は、一定の条件の下にたん吸引等の行
為を実施できる事になりました。

熊本県でも昨年から県の指導のもと研修会が行
われており、講義(八〜五十時間) 演習(二・五時
間〜二日間)の研修を介護職員の方は受けられまし
た。現在二十七名の職員が研修を修了されています。
愛隣館にも、たん吸引や経管栄養などの医療的ケ
アを必要とする利用者の方が多数おられ、医療的ケ
アを実施しています。

また研修を今後受けられる職員も多数あります
ので、これからも安全に適切に医療的ケアを実施で
きるように研修を行っていききたいと思えます。

介護職員研修テキスト DVD 撮影

八月十三日(月)・十四日(火)の二日間に愛隣
館で職場の撮影が行われました。

この撮影は、(財)長寿社会開発センターより、
行われたものです。

来年度よりヘルパー二級の資格を取得される方
を対象に新しく、『介護職員初任者研修テキスト
(仮)』が改正されます。

このテキストは介護職を目指し、資格を取得しよ
うとする方々に、働く様々な現場をわかりやすく紹
介しようと制作されるものです。それに伴い教材も
新しく替わりますが、その教材の一つとして、愛隣
館が選ばれました。

就職希望の男女二名の俳優さんが愛隣館を見学
するという
設定で、事業
所ごとにイ
ンタビュ
形式で撮影
が行われま
した。

撮影を担当
された株式
会社ジーマ
のスタッフ
の皆さん、並
びに、関係者
の皆さん、ご
苦労様でし
た。



ぴあハウスの撮影風景

フライングディスク教室

六月二十四日(日)山鹿市総合体育館・第二ア
リーナにて、フライングディスク教室が開催されま
した。

この日は、あいにくの天候にも関わらず、愛隣館
からは、十三名の参加者で、総勢十六名が楽しく汗
を流しました。

フライングディスクは、小さなお子様からお年寄
りまで、幅広
い年齢層で
楽しむこと
ができ、障が
いをお持ち
の方でも参
加できます。



五メート
ル、七メート
ルの離れた
位置から、直
径九一・五形
のゴールに
十投中、何枚
通せるかを
競うアキュ
ラシー。思いつ切り飛ばして距離を競うディスクタ
ン。他に、ゴルフの様に何投目で入れられるかを競
うディスクゴルフ等があります。

今回は、アキュラシーを体験しました。参加者か
ら、「また参加したい」との声も聴かれました。

今回指導して頂いた方達は、熊本県フライングデ
ィスク協会の講師の方四名、熊本障がい者スポーツ
指導員の方が十二名でした。

愛隣倶楽部日帰り旅行

愛隣倶楽部利用者



清島千春

六月二十二日（金）、愛隣倶楽部の日帰り旅行で光の森に行きました。
雨が降らないか心配していたけど、みんなの願いがかなって、当日はいい天気になりました。
私は買い物リストを作って行き、父の日のプレゼントのストラップと、くまモンのキーホルダー、ピンクのかわいいプレスレットなど、たくさん買い物をしました。
お昼ご飯は、あゆみさんと一緒にオムライスを食べました。ハンバーグのっけていて、卵がフワフワトロトロしていて、とてもおいしかったです。たくさん買い物をして、おいしいご飯を食べて楽しい一日になりました。今度は一泊旅行に行きたいです。



花しょうぶ祭り

ケア課 チーフ

家入弥生



六月五日（火）、小雨の上だった午後、入居者の前田秀之様、園田幸子様、今坂和子様と職員三人で玉名市の高瀬裏川水際緑地公園で開催されている「花しょうぶ祭り」に出掛けました。車から降りると同時に、目の前の紫色の大輪の花に「わあ、きれい」とみんなから歓声が上がりました。先程までの雨の滴が花びらの上に輝いて本当に綺麗でした。

しょうぶの花を横に数十メートルの散歩をし、気に入った花の前で記念写真に納まりました。花に負けない笑顔の写真が撮れました。「来て良かった」と前田様と今坂様。「また来年」と園田様。「さようなら」と大きく手を振ってしょうぶ園を後にしました。



七夕の夕べ（そうめん流し）

七月七日（土）愛隣館にて七夕の夕べが行われました。

今年は、二十名の参加者で行われ、恒例のバーベキューに加え、夏の風物詩そうめん流しも本館中庭にて行われました。

そうめん流しの台は、職員が竹を割って節を削って準備した本格的なもので、参加者は流れてくるそうめんを一生懸命に箸で追い、麺を掴んでは美味しそうに食べておられました。

酷暑に涼を呼ぶそうめん流しで、暑さを忘れた楽しいひと時でした。



楽しく食べておられる巢山様

法人愛隣園夏祭り

八月二十五日（土）恒例の法人夏祭りが愛隣の家で広場で行われました。

今年で、十九回目を迎える夏祭りには、趣向を凝らした職員の屋台に加え、地域福祉部の利用者五名が趣味を生かした屋台を出店し祭りを盛り上げておられました。なかでも、プロ顔負けの串カツは、販売１時間で完売するほどの大盛況でした。

お楽しみ抽選会では、会場に詰め掛けた入居者・利用者やそのご家族・地域の方々、番号を呼ばれる毎に歓声を上げ商品を受け取っておられました。夏祭りに関わった皆様にお礼を申し上げます。



障害者支援施設親善オセロ大会

六月十四日（木）に、人吉スポーツパレスにて熊本県内の十二施設が参加して、障害者支援施設親善オセロ大会が開催されました。

愛隣館では、五月半ばからオセロ大会出場を掛けて、入居者・利用者が総当たり予選が行われ六名の選手が決まりました。

大会当日は、緊張しながらも真剣なゲーム展開で、団体戦では、昨年の十一位から五位に上がる奮闘。個人戦では、福原隆博さんが五位という成績で、どちらも素晴らしい成績を収められました。

選手の皆さん、お疲れ様でした。



クローズアップ 愛隣館 ③



ホームヘルプ部
渡辺 仁美

今年の四月より、ホームヘルプ部での勤務となりました渡辺仁美です。

三月までは、愛隣館厨房で食事のお世話をさせて頂いていたので顔を知っている方も多いのではないかと思います。

介護は初めてで、拙い私ですが、利用者の方と職員の方に教えて頂きながら、なんとか仕事をさせて貰っています。

利用者の方を支えるというより支えて頂くことの方が多く、まだまだ足りないところばかりで迷惑をお掛けすると思いますが、精一杯努めています。と思っています。

これからもよろしくお願いします。

★ 新しい仲間



入居者

巢山 浩

こんにちは、五月十五日に入所した巢山浩(昭和二十九年十二月十九日生まれ)です。

愛隣館のことは、以前、音楽祭への参加の為、練習に来たことがあるので知っていました。

朝・昼・晩の挨拶と漢字の書き取りは、さくら学園の時からやっていて、頭と指の体操にもなるので毎日の日課になっています。

ヨガ教室は柔軟体操にもなるので、毎回楽しみに参加しています。

これから、陶芸にチャレンジして自分の湯のみを作ってみたいです。

みなさん、よろしくお願いします。



入居者

吉里 京子

今年の四月に愛隣館に入居した吉里京子です。

愛隣館は、きれいな所だな!と思いました。

最初の頃は、ちょっと寂しかったですが、今は入居者の人や職員さんにも慣れました。

体を動かすことが好きなので、毎週月曜日のヨガが面白いです。それと、毎週火曜日の館内販売が、何を買おうかと待ち遠しいです。

最近では、指でクルクル描くパステルアート教室に参加しています。パステルが綺麗で私にもできるの

が嬉しいです。これからも、みんなと一緒に続けて行きたいです。



入居者

横田 康信

七月十三日から、愛隣館に入所しています横田康信と申します。

私は、愛隣館に来る前は熊本博愛病院と言う所にいました。今は愛隣館に来て、一号館フウンジでテレビを見たり、お昼には食事を見守って貰い、むせる事なく食べる事が出来ています。

これから友達をたくさん作って、いろいろな活動に参加出来る様になりたいと思います。これからも、よろしくお願いします。



デイケア利用者

堤 栄治

今年の六月から週三回利用している堤栄治(昭和四十五年一月十日生まれ)です。デイケアでは、パソコン教室で文字の打ち込みの練習をやっていて、

楽しくてしかたありません。

家では、プロ野球のセ・リーグは巨人、パ・リーグはソフトバンクのファンなので、テレビで応援しています。ディケアの一泊旅行で野球観戦に行けたら参加したいと思います。

また、六月の一日外出では、イオンモール熊本に行って自分で買える物が出来て嬉しかったです。皆さん、これからよろしくお願いします。

外部講師を迎えて③

今回ご紹介するのは、今年一月よりディケアにて毎週水曜日に手芸教室の講師をされている、中村京子先生です。

中村先生は「手芸教室に参加される方の半数以上が視覚障がいをお持ちの方で、初日は、この方達に手芸ができるのだろうか？果たして教えることができるだろうか？と不安でしたが、とにかく利用者の方々と一緒に手芸を楽しもうと思いました。

教室では、それぞれ好きな物



を作っていただき、編み物やエロクラフトで手揚げや、くまモンの小物入れなど、私の心配をよそに上手に作られ皆さんの勘のよき器用さにビックリし私の方が元気をもらっています。

最近では、障がい者芸術展に向けて、自慢の力作を制作しております」と話されました。

ブドウ作り生きがいに

愛隣館ディケアご利用の有働末義さんが、丹精込めて作っておられる巨峰が今年も美味しく実りました。

有働さんは、農業学校を卒業され、稲作やトマトやメロンの施設園芸などに取り組まれていました。

しかし、五十代半ばで視神経を患い、約十年後には両目とも光を失われました。「何もできない」と落ち込む一方で、家庭菜園を続けたいという思いが強くなり、手の感覚で育てやすいブドウ作りを始められました。

ブドウの枝の剪定、消毒、袋掛けなど一連の作業



を、手と体の感覚だけを頼りに作業されるとのことです。

八月二十四日(金)には、熊本日日新聞の取材を受けられ、ブドウ作りの苦労話や収穫の喜びを語られました。

尚、取材の内容は、八月三十一日(金)の朝刊に掲載されました。

家族の声④

入居者 家族

山品 寿美子

娘(聡美)が愛隣館にお世話になり早いもので十四年が経ちました。この間、娘は職員の皆様の温かいご支援を受け、毎日楽しく過ごしてまいりました。

全国スポーツ大会にも出場する機会を得、熊本県の代表として堂々と開会式で行進し、競技をした姿は今でも私の脳裏にしっかりと残っています。娘にとっても忘れられない思い出となりました。

また、夏祭りやクリスマス会等、毎年時折々の行事に参加させていただいておりますが、その度に娘の喜んでる顔を見ると体は不自由でも本当に幸せな人生を歩んでいるんだなあと感じます。

たびたび病気やケガで心配をかけておりますが、娘のために、まるでわが子の事のように考えてくださり、手厚い看護、介護を受けていることに心より職員の皆様へ感謝しております。

そして今後も施設行事に参加、協力をしていきたいと思います。
最後になりましたが、職員、入居者のご多幸をお祈りしております。

ゆうかり学園 夏祭り



相談員

松尾 麻希

七月二十六日(木)、福岡県久留米市田主丸町植木農業協同組合で開催されました『社会福祉法人ゆうかり学園の盆踊り大会』にご招待して頂き、愛隣館灯籠伝承部の四名で『よへほ節』を踊りました。びっくりするくらいに広い会場で、お祭りに参加

されている方の人数も多く場の雰囲気は圧倒されました。

浴衣姿で頭に灯籠を乗せた私たちを見つけると「一緒に写真を撮ってください」「山鹿から来られたんですか?」と声をかけていただきました



した。

盆踊り後の花火はとても規模が大きく、私にとって今年初の花火大会になりました。

最後になりましたが、お招きいただきありがとうございます。また、協力して頂いた関係者の皆様には感謝申し上げます。

キャリアピジョン訪問取材

七月十八日

(水)に『重度障害者が取材、編集、施設利用者目線で制作』と題し、熊本日新聞山鹿支局の岩下勉様から広報チーム・キャリアピジョンに取材がありました。

今まで、入居



者の方や、利用者の方達には、多くの取材や聞き取り等をしてきたのですが、まさか自分達が取材をされるとは思っていませんでした。取材を受けて感じた事ですが、親切な対応で私たち一人ひとりから上手に聞き出されるところ等は、大変勉強になりました。

これからも、今以上に精進し、一人でも多くの方から喜ばれる広報活動をしていきたいと思えます。

編集後記

暑い熊本の夏が終り、虫の音が聞こえる頃となりました。この夏も、天災など様々な事があり、尊い生命が奪われました。この秋こそ、穏やかに過ぎるようにと祈るばかりです。

さて、そんな夏の七月十九日(木)。熊本日新聞・朝刊に私たち広報部の活動が取り上げられたのをきっかけとして、皆様から暖かい言葉をかけて頂きました。まことにありがとうございます。改めて、身を引き締めて業務に励んで行きたいと思っております。

今後とも、ご指導の程よろしく願っています。

お知らせ

さんぽ美術展へ出逢いから出逢いへへ

障がいのある人もない人も出逢って生まれたアート

主催：山鹿湯の端美術会

日時：十月二十六日(金)～二十八日(日)

十一時～十七時(最終日は十六時)

会場：旧酒蔵 天聴 東蔵

山鹿市山鹿一三九二

出品者：写真(愛隣倶楽部 田中铁也)

パステルアート(坂田照美と愛隣館ゆびさきアートの仲間たち)

陶芸(境喜美代と愛隣館デイケアの仲間たち)